

(資料1)

**ICF チェックリスト (仮訳)**

バージョン 2.1a 臨床用フォーム

国際生活機能分類 (ICF)

このチェックリストは、世界保健機構 (以下、WHO) による「国際生活機能分類 (以下、ICF)」の中の主な項目によって構成されたものです。このチェックリストは、一人一人の生活機能や障害についての情報を整理する際の実用性を重視して作成されています。ここで得られた情報を要約して、臨床場面やソーシャルワークなどのケース記録を作成する際に使用することができます。このチェックリストは、「ICF」そのもの等を参考にしながら活用いただくことをお奨めします。

1. このチェックリストを使用するに当たっては、できるだけ多くの情報を収集した上で判断してください。以下に、使用されるものをチェックしてください。

(1) 書面の記録 (2) 本人による回答 (3) 他の人からの情報 (4) 観察による情報

医療的な情報が得られない場合には、付録1「健康情報」について本人に答えてもらうことをお奨めします。

2. 日付: \_\_\_\_\_ 年 \_\_\_\_\_ 月 \_\_\_\_\_ 日    3. ケース番号 \_\_\_\_\_    4. 関係者番号 \_\_\_\_\_

A. 基礎情報

A.1 氏名(任意) \_\_\_\_\_

A.2 性別 (1) [ ] 男 (2) [ ] 女

A.3 生年月日 \_\_\_\_\_ 年 \_\_\_\_\_ 月 \_\_\_\_\_ 日

A.4 住所 (任意) \_\_\_\_\_

A.5 学校教育を受けた (または受けている) 期間 \_\_\_\_\_ 年間

A.6 結婚に関すること

(1) 未婚 [ ] (4) 離婚経験あり [ ]

(2) 既婚 [ ] (5) 配偶者と死別 [ ]

(3) 別居中 [ ] (6) 同棲中 [ ]

A.7 職業に関すること (最も近いものをひとつ選んでください)

(1) サラリーマン [ ] (6) 退職後無職 [ ]

(2) 自営業 [ ] (7) 無職 (健康上の理由による) [ ]

(3) ボランティア等 [ ] (8) 無職 (他の理由による) [ ]

(4) 学生 [ ] (9) その他 [ ]

(5) 主婦, 家事手伝い [ ] [具体的に \_\_\_\_\_]

A.8 医学的に診断を受けていることがあればご記入ください。また、もしわかるようであれば ICD コードもお書きください

1. 特になし。

2. \_\_\_\_\_ ICD コード \_\_\_\_\_

3. \_\_\_\_\_ ICD コード \_\_\_\_\_

4. \_\_\_\_\_ ICD コード \_\_\_\_\_

5. 健康状態に優れないところはあるが、日常生活には支障はない、又は特に診断は受けていない。

**第1部 a：心身機能の障害**

心身機能とは、身体系の生理的機能（心理的機能を含む）のことです。

機能障害（構造障害を含む）とは、著しい変異や喪失などといった心身機能または身体構造上の問題のことです。

評価点

0	機能障害なし	3	重度の機能障害	9	非該当
1	軽度の機能障害	4	完全な機能障害		
2	中等度の機能障害	8	詳細不明		

項 目	評 価
<b>b 1. 精神機能</b>	
b 110 意識機能	
b 114 見当識機能（時間、場所、人）	
b 117 知的機能（知的発達遅滞、痴呆を含む）	
b 130 活力と欲動の機能	
b 134 睡眠機能	
b 140 注意機能	
b 144 記憶機能	
b 152 情動機能	
b 156 知覚機能	
b 164 高次認知機能	
b 167 言語に関する精神機能	
<b>b 2. 感覚機能と痛み</b>	
b 210 視覚機能	
b 230 聴覚機能	
b 235（バランス感覚を含む）前庭機能	
b 280 痛みの感覚	
<b>b 3. 音声と発話の機能</b>	
b 310 発声機能	
<b>b 4. 心血管系・血液系・免疫系・呼吸器系の機能</b>	
b 410 心機能	
b 420 血圧の機能	
b 430 血液系の機能（血液）	
b 435 免疫系の機能（アレルギー、過敏症）	
b 440 呼吸機能（呼吸）	
<b>b 5. 消化器系・代謝系・内分泌系の機能</b>	
b 515 消化機能	
b 525 排便機能	
b 530 体重維持機能	
b 555 内分泌腺機能（ホルモンのバランス）	
<b>b 6. 尿路・性・生殖の機能</b>	
b 620 排尿機能	
b 640 性機能	
<b>b 7. 神経筋骨格と運動に関連する機能</b>	
b 710 関節の可動性の機能	
b 730 筋力の機能	
b 735 筋緊張の機能	
b 765 不随意運動の機能	
<b>b 8. 皮膚および関連する構造の機能</b>	
その他の心身機能	

**b：身体構造の障害**

身体構造とは、器官・肢体とその構成部分などの、身体の解剖学的部分のことです。

機能障害（構造障害を含む）とは、著しい変異や喪失などといった心身機能または身体構造上の問題のことです。

第1評価点 程度	第2評価点 変化の性質	第3評価点（試案） 部位
0 構造障害なし	0 構造に変化なし	0 2部位以上
1 軽度の構造障害	1 全欠損	1 右
2 中等度の構造障害	2 部分的欠損	2 左
3 重度の構造障害	3 付加的な部分	3 両側
4 完全な構造障害	4 異常な大きさ	4 前面
8 詳細不明	5 不連続	5 後面
9 非該当	6 位置の変異	6 近位
	7 構造上の質的变化（液の貯留を含む）	7 遠位
	8 詳細不明	
	9 非該当	

項目	第1評価点	第2評価点	第3評価点
<b>s 1. 神経系の構造</b>			
s 110 脳の構造			
s 120 脊髄と関連部位の構造			
<b>s 2. 目・耳および関連部位の構造</b>			
<b>s 3. 音声と発話に関わる構造</b>			
<b>s 4. 心血管系・免疫系・呼吸器系の構造</b>			
s 410 心血管系の構造			
s 430 呼吸器系の構造			
<b>s 5. 消化器系・代謝系・内分泌系に関連した構造</b>			
<b>s 6. 尿路性器系および生殖系に関連した構造</b>			
s 610 尿路系の構造			
s 630 生殖系の構造			
<b>s 7. 運動に関連した構造</b>			
s 710 頭頸部の構造			
s 720 肩部の構造			
s 730 上肢の構造			
s 740 骨盤部の構造			
s 750 下肢の構造			
s 760 体幹の構造			
<b>s 8. 皮膚および関連部位の構造</b>			
その他の身体構造			

第2部：活動制限及び参加制約

- ・活動とは、課題や行為の個人による遂行のことです。参加とは、生活や人生場面への関わりのことです。
- ・活動制限とは、個人が活動を行うときに生じる難しさのことです。参加制約とは、個人が何らかの生活・人生場面に関わるときに経験する難しさのことです。

「実行状況」の評価点とは、個人が現在の環境のもとで行っている活動や参加を表すものです。現在の環境は、社会的状況を含むため、この評価点で示される「実行状況」は、その人の实际生活の背景における「生活・人生場面への関わり」あるいは「生活経験」としても理解することができます。この背景には、環境因子、すなわち物的側面、社会的側面、人々の社会的な態度の側面などのすべての側面が含まれており、「環境因子」の分類を用いてコード化することができます。

「能力」の評価点とは、ある課題や行為を遂行する個人の能力を表すものです。この評価点は、ある領域について、ある時点で達成することのできる最高の生活機能レベルを示しています。「能力」は、それぞれで異なった現在の「環境」ではなく、画一的・標準的な環境を想定して評価するようになっています。

注：個人の「活動」と「参加」について、より詳しく整理する際には付録2をご使用ください。

第1評価点：実行状況 参加制約の程度	第2評価点：能力（支援なし） 活動制限の程度
0 問題なし	0 問題なし
1 軽度の困難	1 軽度の困難
2 中等度の困難	2 中等度の困難
3 重度の困難	3 重度の困難
4 完全な困難	4 完全な困難
8 詳細不明	8 詳細不明
9 非該当	9 非該当

項目	実行状況	能力
<b>d 1. 学習と知識の応用</b>		
d 110 注意して視ること		
d 115 注意して聞くこと		
d 140 読むことの学習		
d 145 書くことの学習		
d 150 計算の学習		
d 175 問題解決		
<b>d 2. 一般的な課題と要求</b>		
d 210 単一課題の遂行		
d 220 複数課題の遂行		
<b>d 3. コミュニケーション</b>		
d 310 話し言葉の理解		
d 315 非言語的メッセージの理解		
d 330 話すこと		
d 335 非言語的メッセージの表出		
d 350 会話		

<b>d 4. 運動・移動</b>		
d 430 持ち上げることと運ぶこと		
d 440 細かな手の使用（つまむ，握る）		
d 450 歩行		
d 465 用具を用いての移動（車椅子，スケート等）		
d 470 交通機関や手段の利用（車，バス，電車，飛行機等）		
d 475 運転や操作(自転車・オートバイ・車等の運転)		
<b>d 5. セルフケア</b>		
d 510 自分の身体を洗うこと（入浴すること，拭き乾かすこと，手を洗うこと等）		
d 520 身体各部の手入れ（歯磨き，髭剃り，身だしなみ等）		
d 530 排泄		
d 540 更衣		
d 550 食べること		
d 560 飲むこと		
d 570 健康に注意すること		
<b>d 6. 家庭生活</b>		
d 620 物品とサービスの入手（買い物等）		
d 630 調理（料理等）		
d 640 調理以外の家事（掃除，洗濯，アイロンがけ等）		
d 660 他者への援助		
<b>d 7. 対人関係</b>		
d 710 基本的な対人関係		
d 720 複雑な対人関係		
d 730 よく知らない人との関係		
d 740 公的な関係		
d 750 非公式的な社会的関係		
d 760 家族関係		
d 770 親密な関係		
<b>d 8. 主要な生活領域</b>		
d 810 非公式な教育		
d 820 学校教育		
d 830 高等教育		
d 850 報酬を伴う仕事		
d 860 基本的な経済的取引		
d 870 経済的自給		
<b>d 9. コミュニティライフ・社会生活・市民生活</b>		
d 910 コミュニティライフ		
d 920 レクリエーションとレジャー		
d 930 宗教とスピリチュアリティ		
d 940 人権		
d 950 政治活動と市民権		
<b>その他の参加と活動</b>		

### 第3部：環境因子

環境因子とは、人々が生活し、人生を送っている物的な環境や社会的環境、人々の社会的な態度による環境を構成する因子のことです。

評価点 (障害因子又は促進因子)	0 障害因子なし	0 促進因子なし
	1 軽度の障害因子	+1 軽度の促進因子
	2 中等度の障害因子	+2 中等度の促進因子
	3 重度の障害因子	+3 高度の促進因子
	4 完全な障害因子	+4 完全な促進因子

項目	評価点
<b>e1. 生産品と用具</b>	
e110 個人消費用の生産品や物質（食品，医薬品）	
e115 日常生活における個人用の生産品と用具	
e120 個人的な屋内外の移動と交通のための生産品と用具	
e125 コミュニケーション用の生産品と用具	
e150 公共の建物の設計・建設用の生産品と用具	
e155 私用の建物の設計・建設用の生産品と用具	
<b>e2. 自然環境と人間がもたらした環境変化</b>	
e225 気候	
e240 光	
e250 音	
<b>e3. 支援と関係</b>	
e310 家族	
e320 友人	
e325 知人・仲間・同僚・隣人・コミュニティの成員	
e330 権限を持つ立場にある人々	
e340 対人サービス提供者	
e355 保健の専門職	
e360 その他の専門職	
<b>e4. 態度</b>	
e410 家族の態度	
e420 友人の態度	
e440 対人サービス提供者の態度	
e450 保健の専門職者の態度	
e455 その他の専門職者の態度	
e460 社会的態度	
e465 社会的規範・慣行・イデオロギー	
<b>e5. サービス，制度，政策</b>	
e525 住宅供給サービス・制度・政策	
e535 コミュニケーションサービス・制度・政策	
e540 交通サービス・制度・政策	
e550 司法サービス・制度・政策	
e570 社会保障サービス・制度・政策	
e575 一般的な社会的支援サービス・制度・政策	
e580 保健サービス・制度・政策	
e585 教育と訓練のサービス・制度・政策	
e590 労働と雇用のサービス・制度・政策	
その他の環境因子	

第4部：その他の背景情報

4. 1 個人またはその他の関連した情報について簡単に記述してください。

4. 2 ライフスタイル、習慣、社会的背景、教育歴、人生の出来事、人種、性的指向、資産等の生活機能に関する個人的な事柄について記述してください。